## 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の	有無  無  ▼		電話 042 (	751 ) 9141
担当部課名	消防本部    ▼	警防課	課   ▼		
事務事業名	消防団活動費			事業コード	23130
1 総合計画における位置づけ					

政策名	第 3 章	安全に暮らせる都市の実現をめざします	事業開始年度
基本施策名	第 1 節	災害に強いまちづくり	~63 ▼ 年度
施策名	第 3 施策	消防力の強化	一

2 実施根拠及び関連法令等 消防組織法、消防力の基準(昭和36年消防庁告示第2号)

## 3 事業概要

(1)事業の目的	(2)対象(誰、何)	
火災をはじめ、各種の災害から「市民の生命、財産の確保 的の活動する、消防団が使用する装備機材の維持管理を通		
		対象 数 60万市民
(3)平成13年度事業の内容	(4)総合計画・実施計画にる	おける概要
相模原市消防団の小型動力ポンプ及び消火用ホースの修繕等維持管理 小型動力ポンプ3台の更新		
	(5)個別計画の概要	
	計画名	
	計画年次年	度~ 年度

4 評価指標

指標名	消防団の災害活動等に伴う装備機 材の適正な維持管理	
指標式	整備点検を行い災害活動時機械器具の故障がない場合指標 は100%とする.	
指標設定の意図	消防団装備機材の適正な維持管 理に伴う経費の節減に努める。	

「全額単位・千円) 5 月標と実績

	」 日保 ( 天浪						_ 【 立 競 平 位 . 一 门 】	
		平成11年度	平成12年度	平	成13年度(訂	平価文	象年度)	平成14年度
		実績	実績		実績		目標	目標
	指標	100	100	а	100	Ь	100	100
	指標			C		а		
	指標			е		f		
	決算 (予算)額	5,409	5,489		5,875		6,289	3,886
事	八只时间双	1 人・48時間	1 人・48時間	1,	人・48時間	1.	人・48時間	1人・48時間
業	人 件 費	201	201		201		201	201
表	その他経費							
	合 計	5,610	5,690		6,076		6,490	4,087
	特定財源	1,009	1,050		1,050		1,050	1,140

## 6 個別評価

6 個別評					
(1)達成度	₹···目標をどれだけ遺	を成したか	1		
評価	A:達成している	( '	100%)		
A 🔻	B:一部達成していた	:l1(100%	> 80%) = ,	、 の平均値 =	100.0%
ı,	C : 達成していない	(80%>	)		
а	100.0	`	C		e100
<u>u</u>	100.0 × 100=	100.0%		—× 100=	x 100=
		プル6台の	こちん 台に係る修理 消ル	田ホーフの修理を通	」 ' まやかに行い、火災時の消火活動に障害が
理由:	体形でしている。 また新担	ブサ0日の  消ル田ホ	- 766木の購入配布及7	バル刑動力ポンプ2名	台の更新が図られ、市民に期待される消防団
<b>ж</b> н.	活動の充実強化が図ら		7(00 17,00 NA) (HD 11) X C		
(2)必要性	・・・・時代変化に適応		カ容か		
評価	A:適応している			与効に行えるように	、軽量化された消火用ホース及び小型
A 🔻	B:一部適応していない	<b>ж</b> н.	動力ポンプを各整備計		
	C:適応していない			日に至って文がで	20000
(3)经済性	t·効率性・・・費用対効	単は妥う	<b>当か</b>		
評価	<u> </u>			用ホースの点検修	8繕等は、器具使用期間の延長等に効
A <del>▼</del>	B:一部妥当でない	<b>ж</b> щ.	果がある。	./\!\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	スタンの西族に対象語がある。
	C:妥当でない		>K13 05 00		
(4)事業の		の役割	分担のあり方から見て、	市が実施していく	ことが適当か
					ます市民に期待されており、その活動を
	B:代替の可能性低い	1 :	支える装備の維持管理		
	C:代替の可能性高い				
(5)市民清	。 	満足は得	引っているか		
評価	A:満足できる	理由:	消防団が支障なく災害	活動できるよう、各	ら装備機材を維持管理することは、市民
A -	B:一部満足できない		の期待と理解を十分を	得られる。	
ļ	C:満足できない				
(6)有効性	ŧ・・・当該事業は上位の	の施策を	実現する上で有効か		
評価	A:有効である	理由:	火災及び地震等大規	莫災害に対する備	えや地域における自主防災訓練指導な
A -	B:一部有効である		ど、地域に密着した活	動が求められてお	り、その活動を支える装備器材の充実は
, ,	C:有効でない		必要である。		
÷क/≖ ।*	パーン・コイ・ 」 達	成度		成果向上の余地	1
評1四人	ランスチャート <sup>達</sup> A				説明:
				┌ ある	装備機材の点検及び器具の愛護に努
	B	<b>∤</b> `	\		めて使用していることから、職員が修繕
	有効性		必要性	□ ない	可能なものはを行い更新時期を僅かで
	C	† /			も延ばし、経費の削減を図るよう努めた
					l Ι.
		$\uparrow$		コスト改善余地	
	/ c	ļ · ` \			説明:
	市民満足度		経済性·効率性	🛮 ある	経費削減には努めているが、事業費の
	В	† /	100 112 100 112		大部分が必要な装備品の劣化による修
				☑ な い	繕と更新であり、事業費を削減すること
	A T	) O代替性			は、困難である。
		Net			
7 総合評(	<u> </u>	1		- N/2 / 1 1 1	
	AA  ▼		近隣市町村も同様の事	業を実施している	ò.
÷0: /3E	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	他自治			
評価		体の類			
		似事業			
^	<u> </u>   ※ の 准	との比			
7	後の進め方	較			
✓	継続				
	見 直 し				
		説明			
	廃止	B/64/2			
П	完 了				
_					
	<b>聞における変更点</b>				